



つながるカレッジねりま みどり分野

ねりまの森維持管理コース 講座だより

## 第7回「森の樹木の特徴と剪定方法を学ぼう②(落葉樹・果樹編)」

日時：令和5年11月11日(土) 9:30～12:30

会場：羽根木憩いの森(羽沢3-2)



### 今回の講座の流れ

樹木の性質や特性に応じた、剪定の考え方や方法について学びました。実習を始める前に「安全・安心に活動するための8項目」を確認し、実習では、シャガや実生木の抜き取りや、伐採、中低木の整枝剪定をしました。

### 各プログラムの様子



講義の様子



安全管理の確認



実習の様子



作業前



作業後

### 憩いの森の低木管理(落葉)

落葉樹と常緑樹の生育サイクルの違いと、剪定時期の考え方について講義がありました。また、花木や果樹(憩いの森に多い、ウメ・かんきつ類)の剪定のポイントを学び、区民管理で作業のできる対象木の復習もしました。

### 安全管理の確認

「安心・安全に活動するための8項目」と、刃物の取扱いや注意事項、作業中に声をかけあうことなどを確認しました。

### 剪定作業

園路を覆い隠していた、シャガや小さな実生木の抜き取りをしました。枯木の伐採や整枝剪定をし、見通しの良い景観にしました。また、竹林の名残である竹の地下茎が雑木エリアまで伸びており、林地を荒らしたり、樹木が倒れる危険があるため、竹を伐採しました。

### ねりまの森維持管理コースについて

地域の貴重な財産である憩いの森などを守り育てるため、管理活動に必要な知識と技術の習得を目指す講座です。座学と実習を交えて、草刈りや中低木の剪定技術などについて学びます。

### 今回のキーワード

#### 落ち葉は森の宝物

(一社)練馬環境造園協会

落ち葉の季節がやってきました。落ち葉掃きは大変などの声も聞かれます。しかし、落ち葉を上手に活用すれば、森の中で循環させることが可能です。落ち葉溜めで堆肥を作ったり、カブトムシなどの幼虫の棲み処にしたり、霜よけにして植物を寒さから守り、春を迎える準備もできます。他にも、落ち葉を森の景観の一部として楽しむ方法もあります。落ち葉の利活用を含めた、森の管理目標を決めるのもいいですね。憩いの森のメンバーの意識をひとつにして、目標に向かって森の空間を作り上げてください。

### 森でみつけた!

#### 生命力の強い実生木



シュロやトウネズミモチは、実が多く、小粒なので、鳥の貴重な食料となっています。また、昔、温かい地方ではシュロを屋根材として活用していました。しかし、果実の中に含まれる発芽率の高い種は、鳥のフンとして、止まり木の下に落下し、実生木として森の中で急速に成長します。その結果、光を遮り在来種が生育しにくい環境を生み出します。また、見通しが悪く、暗い環境は、訪れる人を不安にします。森と生きもののバランスを意識した管理を心がけましょう。